

「古典って楽しい」を引き出す授業づくり

「何を言っているか分からないから難しい」「暗記しなくてはいけない」古典と言えばそんな印象をもたれ、敬遠されがちなのではないでしょうか。

小学5年生は、古典学習との出会いとなる重要な入り口です。そこで、「古典って楽しいな」という子どもたちが思えることを目指し、単元づくりに取り組みました。

「心に響く古典を表現しよう」～楽しい古典単元づくりのための3つのエッセンス～

(1) 古典との出会い

主教材とした古典作品は「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくの細道」の冒頭部分。NHK for schoolの動画コンテンツを活用し、まずは耳から作品に出会いました。また、最初に出合わせた「竹取物語」では、一枚の挿絵を提示し、それを見て気づくことを話し合うことで、古典の世界へと誘いました。話し合いの中で作中の言葉にも注目し始め、自然と古典の言葉を声に出し始めます。子どもたちは教科書の本文を読み始め、「ここが言いにくい」「言えた」という言葉が出てきました。そこには、「言えるようになりたい」と何度も声に出して見る姿がありました。

(2) グループで音読表現しよう

音読への意欲が低い子どもがいる実態をふまえ、グループで音読することにしました。

今回、教材としたのは「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくの細道」の冒頭部分。その中から、グループで音読の練習をするものを1つ選びました。仲間と一緒に活動することで、音読への関心があまり低い子どもも何度も読み、1つを選ぶために古典作品の魅力について話し合うので必然的に、教科書に書かれている現代語訳や解説文を読む姿につながります。

(3) タブレット端末を用いて録音

単元の前半で、自分の音読をタブレット端末で録音しました。そして単元終末にも録音し、自分の読みを比べることにしました。このとき学習支援アプリ「ロイロノート」を使用。クラウド上に個人のフォルダがあり、簡単に聞き返すことができます。

グループ学習の際には、こちらからグループに1台ずつ渡すのではなく、教卓に置いておきました。子どもたちは、グループ学習をする中で録音したいと思ったときに取りに来ました。子どもが必要なときに使える環境にしておくことが、子どもの主体的な学びにつながります。

単元を振り返って～子どもたちの様子～

単元終了後、30人全員が「古典は楽しい」と話しました。休み時間に、友達と並んであるきながら口ずさんでいた「竹取物語」。「平家物語」の言葉のリズムを感じ、体を動かしながら読み、徐々にそれぞれの振り付けをつけ始めて、互いに見合う姿。動画コンテンツで視聴した「徒然草」の読み方を真似る姿。グループ学習の後、「今度は自分が好きな古典を選んで、暗唱大会をしようよ」という声が挙がり、全員の賛同を得ました。

本学級の子どもたちは、お気に入り古典作品を持ち、古典を声に出すことに親しみ、次の古典学習を楽しみにしています。

国語科

5年担任

湯浅 明菜



グループで読んだ声をタブレット端末で録音。しかし、教室内で8グループに分かれて活動するので音が聞こえづらい…そこで、プラスチックケースに入れて音を反響させました。グループで寄り添って聞き、次はどのように読むといいか考えて話し合っています。

☆グループできめた古典は、わたしが自分で読みたいとか、これ好きやなどか思っていたのどちがう古典だったので、グループで学習したからその古典も覚えられてよかったなと思いました。1つ1つの古典を、時間はかかるけど練習して覚えていったら4つの古典がかんbecきになると思います。古典はおかし言葉なのでむずかしかったけど、それを練習するのが楽しかったです。はじめにタブレットで録音したのは全然上手にいかなくて、たくさん練習して、今のほうがうまくなっていたと、わたしは思いました。

☆今日の6時間目に古典を録音しました。ぼくは平家物語を選んで読んだんだけど、ぼくはふりつけを考えたのと合わせて読みました。ふりつけがすごくおもしろくて、Aちゃんが、録っているときにずっと笑っていて、自分でも笑ってしまいました。平家物語の言い方とダンスがすごく合っていていいと思いました。

☆ぼくは、古典が好きになりました。なぜかという、最初にやったときに、つれづれ草を読んでみたら好きになりました。それで、国語の授業とか家で練習とかも楽しかったし、古典をやっていたら、たのしくて、わくわくしました。録音したのを聞いてみたら、まえのより、今のほうがいいとわかりました。やったら楽しかったし、この勉強ができてよかったです。

☆授業で最初はむずかしくてびっくりしました。宿題で、言えたら気持ちがいいと思って、10回、20回と練習しました。古典はおもしろいので、またやりたいです。聞いて、前はきおくするのでせいいっぱいだったけど、今はこんな感じに言ったら心にひびくことができてよかったです。

(単元終了時の感想文)